

わんにゃん新聞

Vol. 14

文責：看護師 古賀

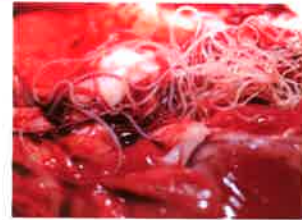


皆さんこんにちは！
 台風が過ぎ去って、すっかり秋になりましたね。
 『涼しくなったからもうフィラリアの予防はしなくていい？』
 そんなことはありません!!フィラリアは**11月末まで必要**ですよ。
 今回のテーマはフィラリア予防です。

マイクロフィラリア

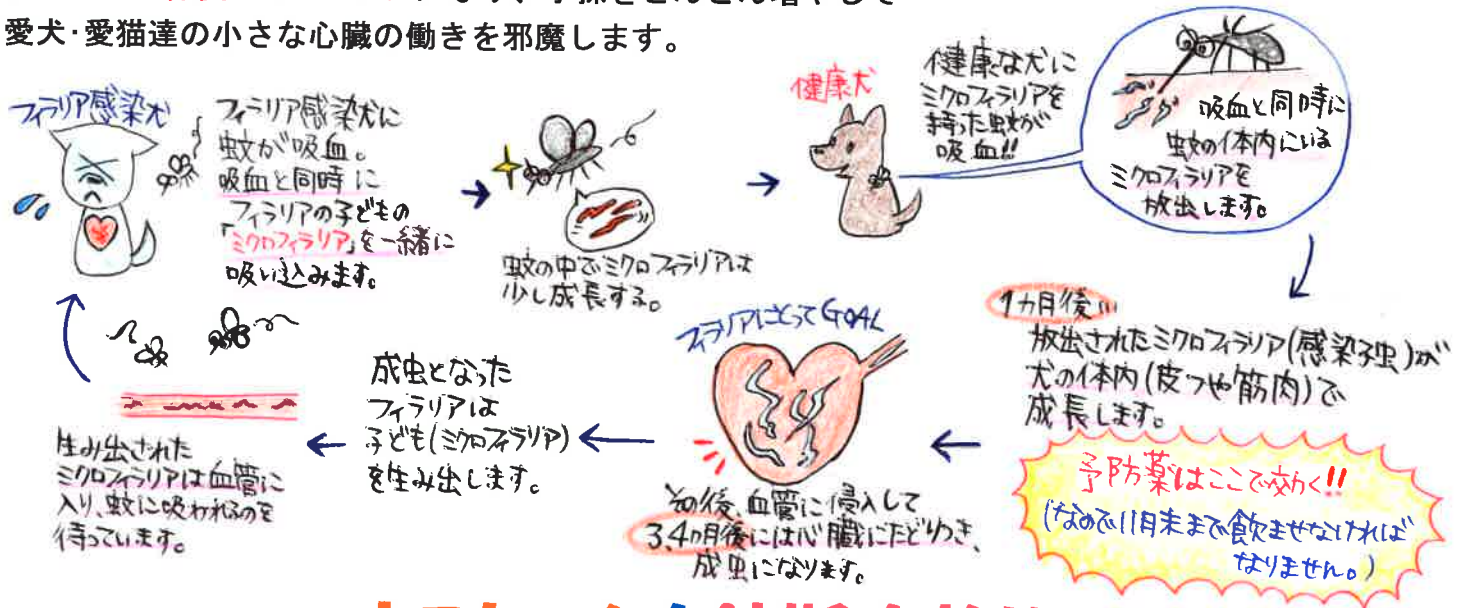


フィラリアとは？



←心臓に寄生した成虫のフィラリアたち!!

フィラリアとは蚊が運んでくるやっかいな虫のことで、蚊が運ぶのですがから、初めは顕微鏡で見ないと分からないくらい小さい(マイクロフィラリアと言います)ですが、**血管を通して心臓に寄生**します。成長すると**体長15cm~30cm**になり、子孫をどんどん増やして愛犬・愛猫達の小さな心臓の働きを邪魔します。



ネコちゃんも油断大敵!!

犬で有名なフィラリア症ですが、**実は猫にも寄生**します。犬よりも身体が小さな猫は症状が大変おもく、急速に衰弱して死に至ります。**猫の突然死がフィラリア症だった**という例もありますのでネコちゃんも予防をお勧めします。犬の場合、当院ではフィラリア薬は錠剤ですが、猫ちゃんは**ノミとフィラリア**、回虫やミミヒゼンダニの駆虫も一緒にできるスポットタイプの『レボリューション』で行います。



西川動物病院
 43-0200



ご意見・ご感想お待ちしております!

info@on-vet.com



フィラリア予防薬の効果

予防薬は『1ヶ月間効く』のではなく、

1ヶ月間体内に貯めていたミクロフィラリアを飲んだその日に駆除します。



なので、蚊が出始めてすぐ予防薬を飲ませるのではなく、

それから1か月後に予防薬開始!! (この地域では5月末から)

蚊を見かけなくなったからといって予防薬を飲み終えてはいけません!!

最後が一番肝心です。9月や10月に投薬をやめてしまったら、

その前の月(8月や9月)に体内に侵入してきたミクロフィラリアはぬくぬくと育って

3・4カ月後には恐ろしく立派な成虫になってしまいます。

今まで予防してきたのも水の泡になってしまいます…

そんなことにはならない様に!!

11月末(蚊を見なくなって1か月後)までしっかり予防しましょう!!



Q. 室内飼いだからうちの子は大丈夫?

A. 私たち人間でも家の中にいて蚊に刺されますよね。犬猫も同じです。

それに犬の場合は散歩にも出かけます。その時にも刺されますね。

実際に、**室内飼いでフィラリア予防しなくて感染したワンちゃんも多数います。**

室内・外飼い関係なく予防は必要です。

Q. もうフィラリアに感染しているのですがお薬飲ませた方がいいの?

A. **すでに感染しているワンちゃんもこれ以上体内のフィラリアが増えない様に予防は必要です。**

成虫は駆除できませんが、新しく生まれるフィラリアの子孫と

外から蚊に刺されて入って来るミクロフィラリアを駆除しましょう。

Q. フィラリアに感染してしまうとどうなるの?

A. **心臓にフィラリアが寄生してしまうと血液の通り道は狭くなってしまいます。**

血液の通り道が狭くなってしまうと、心臓は道が広がったときと同じ量の血液を送るために、もっとたくさん働かなくてはならなくなるのです。(肺高血圧症)

この心臓への負担が大きくなって呼吸困難になったり、お腹や肺に水が溜まったり、狭い道を無理やり通るために血液中の赤血球が壊れてしまい、貧血になったり、

血尿が出たりします。そして多くの場合、死んでしまいます。